



制定日 2003/03/15

改定日 2023/02/08

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品および会社情報

製品名	: クリントールアクア
製品の種類	: 粘着ゴムロール用クリーニング溶剤(クリーンダッシュロール専用)
会社名	: テクノロール株式会社
所在地	: 〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-4-5
担当部門	: ケミカル技術部
電話番号	: 0725(53)3933
FAX 番号	: 0725(53)3922
E-Mail	: info@technoroll.co.jp
管理番号	: No. MD-CTAq09

### 2. 危険有害性の要約

#### <GHS分類>

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	急性毒性 (経皮)	区分4
	急性毒性 (吸入:蒸気)	区分4
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1 (中枢神経系、血液系、呼吸器系、 肝臓、腎臓、全身毒性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (血液系) 区分2 (脾臓、呼吸器、肝臓)

\*記載のないものは「区分に該当しない」、又は「分類できない」

&lt;国/地域情報&gt; なし

#### <GHSラベル要素>

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険

引火性液体及び蒸気 (H226)  
 皮膚に接触すると有害 (H312)  
 吸入すると有害 (H332)  
 皮膚刺激 (H315)  
 強い眼刺激 (H319)  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)  
 中枢神経系、血液系、呼吸器系、肝臓、腎臓、全身毒性の障害 (H370)  
 長期にわたる又は反復ばく露による血液系、脾臓、呼吸器、肝臓の障害のおそれ (H373)

#### <注意書き>

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)  
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)  
 容器を密閉しておくこと。(P233)  
 容器を接地しアースを取ること。(P240)  
 防爆型の電気/換気装置/照明機器を使用すること。(P241)  
 火花を発生させない工具を使用すること。(P242)  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)  
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。(P332+P313)  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。(P337+P313)  
 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)  
 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。(P308+P313)  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)  
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。(P314)  
 特別な処置が必要である(このラベルの応急措置を参照)。(P321)  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)  
 火災の場合、消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)  
 施錠して保管すること。(P405)

廃棄

内容物/容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名/成分	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	含有率(wt%)
アルキレングリコールエーテル	-	-	-	10 ~ 30
アルキルアルコール	-	-	-	20 ~ 40
安定剤	-	-	-	1 未満
水	H <sub>2</sub> O	7732-18-5	-	40 ~ 60

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 気分が悪い時は医師に連絡する。すぐには何も症状が認められなくても、必ず医師の診察を受ける。直ちに医療措置を受ける手配をすること。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、体を毛布などでおい、保温して安静を保つ。呼吸が不規則か止まっている場合には人口呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。SDS を提示して、医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断する。製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹼を使ってよく落とす。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間、まぶたの裏まで注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて固着していない限り、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、出来るだけ早く医師の診察/手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡する。水でよく口の中を洗浄する。ただし、意識の無い場合には水等を与えてはならない。医師の指示による以外は無理に吐かせない。誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
- 応急処置をする者の保護 : 適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用すること。換気を行うこと。
- 医師に対する注意事項 : 本製品のガスを吸入したもの、飲み込んだものは、安静にさせその経過を観察しなければならない。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂  
 使ってはならない消火剤 : 棒状注水  
 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。  
 高温にさらされる密閉容器は水を掛けて冷却する。  
 消火活動は風上から行う。  
 指定の消火剤を使用すること。
- 火災時の特有危険有害性 : 加熱により容器が爆発するおそれがある。  
 火炎によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、プロテクションゴーグル等）を着用する。  
 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
 関係者以外の立入りを禁止する。  
 密閉された場所に立入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。  
 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険でなければ漏れを止める。  
 乾燥土、砂や不燃材料で流出物を吸収し、あるいは覆って密閉できる化学品廃棄容器に回収する。大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- 二次災害の防止策 : すべての着火源、高温体及び付近の可燃物を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。  
 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。  
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱および保管上の注意

- 取扱方法  
 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
 粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。  
 容器はその都度密閉する。  
 静電気対策のため、容器を接地しアースを取ること。  
 特に引火点が低いので、周囲で熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源の使用を禁止する。禁煙。  
 防爆型の電気機器・換気装置・照明機器・その他機器を使用すること。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 局所排気・全体排気  
 安全取扱注意事項 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。  
 使用用途以外には使用しないでください。  
 皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。  
 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。  
 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。  
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 接触回避  
 保管方法 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 安全な保管条件 : 容器を密閉しておくこと。  
 直射日光を避け、換気の良い冷暗所又は暗所で保管する。  
 施錠して保管すること。  
 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ガラス、セラミック、ステンレスなど。(基本的には製品の容器・包装材料にて保管する)  
 鉄製の容器は腐食する為、使用してはならない。
- 混触禁止物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	:	25ppm(アルキレングリコールエーテル、2022年) 200ppm(アルキルアルコール、2022年)
許容濃度	:	日本産業衛生学会(2022年版) ; 400 ppm(980 mg/m <sup>3</sup> 、アルキルアルコール) ACGIH(2022年版) TLV-TWA 20 ppm(アルキレングリコールエーテル) ACGIH(2022年版) TLV-TWA 200 ppm(アルキルアルコール)
設備対策	:	取扱い電気設備は防爆型を使用し、液体の輸送、汲み取り、攪拌等の各装置は全てアース取りする。 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。特にタンク内部等の密閉場所で作業をする場合は、密閉場所、特に底部まで充分に換気が出る装置を取り付ける。取扱い場所の近くには高温、発火源となるものが置かれていない設備とする。屋内洗浄作業の場合は、自動洗浄機等を使用するなど作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられる設備とする。
保護具		
呼吸用保護具	:	有機ガス用防毒マスク、自給式空気呼吸器
手の保護具	:	耐溶剤性のゴム手袋(不浸透性)
眼の保護具	:	側板付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	:	耐溶剤性の保護衣、保護長靴、保護前掛け 静電塗装を行う場合は、通電靴を着用する。
適切な衛生対策	:	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状	:	液体
色	:	無色透明
臭い	:	溶剤臭
沸点(初留点)	:	88°C
蒸気圧	:	データなし
比重	:	0.942(20°C)
溶解度(水)	:	水に任意に溶解(無限大)
pH	:	4.5~6.0
引火点	:	30.8°C
発火点	:	データなし
爆発限界	:	データなし
可燃性	:	あり
発火性	:	なし(自然発火性、水との反応性)
酸化性	:	なし
自己反応性	:	なし
爆発性	:	蒸気は空気より重く、低所に停滞して爆発性混合ガスを作り易い。

## 10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の下では安定。流れや攪拌などで静電荷が発生します。
危険有害反応可能性	:	紫外線、塩基、酸の影響下で分解する。
反応性	:	特記すべき反応性なし。
避けるべき条件	:	高温、火花、裸火、静電放電、強酸化剤、強アルカリとの接触回避。
混触危険物質	:	酸化剤、強塩基、還元剤、強アルカリ。
危険有害な分解生成物	:	燃焼等により CO、NO <sub>x</sub> 等の有害ガスを発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性 経皮	:	ATEmixが1000<計算値≤2000mg/kgのため、区分4に該当。
吸入; 蒸気	:	ATEmixが10.0<計算値≤20.0mg/lのため、区分4に該当。
皮膚腐食性/刺激性	:	区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:	眼区分2Aの成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。

生殖毒性	生殖毒性区分2の成分合計が $\geq 3\%$ のため、区分2に該当。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1(中枢神経系、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓、全身毒性)の合計成分がそれぞれ $\geq 10\%$ のため、区分1(中枢神経系、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓、全身毒性)に該当。 区分3(気道刺激性)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1：呼吸器と、区分3：気道刺激性は、統合して区分1:呼吸器系とする。 区分1(血液系)の成分合計が $\geq 10\%$ のため、区分1(血液系)に該当。 区分2(脾臓、呼吸器、肝臓)の成分合計が $\geq 10\%$ のため、区分2(脾臓、呼吸器、肝臓)に該当。

## 1.2. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性短期(急性)	:	区分に該当しない。
水生環境有害性長期(慢性)	:	区分に該当しない。
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性(BCF)	:	データなし
土壌中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	分類できない

## 1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	環境への放出を避けること。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃液・容器等の廃棄物は、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、内容を明示して委託して処理する。
汚染容器及び包装	:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、内容を明示して委託する。 使用品及び廃却灰等は、特別管理産業廃棄物に該当することがあるので、廃棄は法律に準じて行う。 廃棄物等の焼却処理をする場合は、一酸化炭素等の有毒ガスを発生する危険性があるため、十分な可燃性溶剤、重油等の燃料と共に、アフターバーナー、スクラバーを具備した焼却炉で焼却し、排ガスは中和処理を行う。

## 1.4. 輸送上の注意

国際規制		
海上輸送	:	IMOの規定に従う。
航空輸送	:	ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号	:	1219 イソプロパノール(イソプロピルアルコール)(2-プロパノール) 2810 エチレングリコールモノブチルエーテル
品名	:	その他引火性液体(他の危険性を有しないもの)
等級	:	クラス3(引火性液体)イソプロパノール 6.1(毒物。人体に対する毒性を有する。)エチレングリコールモノブチルエーテル
容器等級	:	II
国内規制		
陸上輸送	:	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	:	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	:	航空法に定めるところに従う。
指針番号	:	129(引火性液体(水可溶/有害性)) イソプロパノール 153 エチレングリコールモノブチルエーテル

注意事項 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

### 1.5. 適用法令

労働安全衛生法令  
 危険物 : 施行令別表第1第4号「危険物・引火性のもの」 混合物  
 通知対象物質 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）エチレングリコールモノブチルエーテル、イソプロピルアルコール  
 表示対象物質 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）エチレングリコールモノブチルエーテル  
 有機溶剤中毒予防規則 : 第2種有機溶剤等 エチレングリコールモノブチルエーテル、イソプロピルアルコール  
 毒物及び劇物取締法 : 非該当  
 消防法 : 第4類引火性液体 第二石油類 水溶性液体 数量：2000L  
 危険等級 : II  
 化学物質管理促進法 (PRTR 制度) : 第一種指定化学物質 エチレングリコールモノブチルエーテル (2023年4月1日より有効)  
 化審法 : 法第2条第5項 優先評価化学物質 プロパン-2-オール、2-ブトキシエタノール  
 海洋汚染防止法 : 有害液体物質 Y 類 2-ブトキシエタノール  
 有害液体物質 Z 類 イソプロピルアルコール  
 船舶安全法 : 危規則第3条危険物告示別表第1（引火性液体類）イソプロピルアルコール  
 危規則第2, 3条危険物告示別表第1（毒物類・毒物）エチレングリコールモノブチルエーテル  
 大気汚染防止法 : 揮発性有機化合物(VOC) 2-ブトキシエタノール、イソプロピルアルコール  
 航空法 : 施行規則第194条第1項（引火性液体）イソプロパノール (毒物類・毒物) エチレングリコールモノブチルエーテル  
 輸出貿易管理令 : 別表第1の16項 キャッチオール規制対象物質 混合物  
 労働基準法 : 疾病化学物質 非該当  
 特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律 (バーゼル法) : 第二条 第一項 第一号イに規定する物 イソプロパノール  
 HS コード : 2905.12 飽和一価アルコール：プロパン-1-オール(プロピルアルコール)及びプロパン-2-オール(イソプロピルアルコール)  
 2909.43 エチレングリコール又はジエチレングリコールのモノブチルエーテル

### 1.6. その他の情報

荷姿 : 18L 金属(内面コート)角缶容器入り  
 注釈 : この製品データは一般的な情報および経験に基づき得られたものですが、本製品の持つ特性に関する品質保証を意味するものではありません。危険、有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。また、記載事項は当製品についての通常取扱いを対象としたものであり、それ以外についてはご使用者の責任において安全対策を実施の上、お取り扱い願います。  
 本 SDS は JIS Z7252/7253:2019 に準拠して作成しています。